

一般質問



&



市のゆきえは

9月定例会、18名の議員が質問

議長、副議長ならびに議会選出監査委員は、申し合わせにより一般質問ができません。

学童保育の検討と 高齢者の生活支援は

藤村洋二

問 (1)少子化対策の一つ

学童保育は共働き・ひとり親家庭などの放課後、土曜日、春夏冬休みなどの生活を保障し、保護者の就労や生活を守る仕事と子育てに欠かせない施設。

①入所希望は増加し、待機児童や大規模化が懸念される。
②低学年は学童保育で過

ごす時間は学校より多い

のに施設や職員の状態整備が十分でない。

③保育時間は土曜日開所や保護者の迎えができるよう延長してほしいなどの保護者要望がある。見解を伺う。

(2)近江富士団地をはじめ市内団地は昭和50年前後に開発され、老年人口の増加が著しく、日常の買

少子・高齢対策は プラス思考で取り組む

市長

答 (1)今後、税収が減少

しても歳出の削減を図り、生み出された財源で少子高齢対策を進める。

学童は小学校の空き教室など工夫をしながら大規模化の解消に努めている。今後の施設整備には限界があり、放課後子どもプランなど合わせ総合的に検討する。職員の待遇改善は社協の範囲だが、保育時間は社協と協議す

る。

(2)近江富士団地マーケット跡地は昨年10月にJAに要望書を提出、跡地の活用、商店の誘致を要望している。売却の方針についても異議を伝えて

いるが、具体的な売却先は承知していない。

その他の質問

問 EMで環境教育の実践を
各学校のプール清掃に利用



子どもの家風景

今後の生活支援については、各課と連携して市民活動に対する応援を考

物など問題になっている。
①近江富士団地のマーケット跡地が売却処分されるこの情報があるが対応は。
②市内には生鮮食料品などを購入する店舗は少なく高齢者は日常生活で苦労している。支援策は。



「野洲市教育の日」を定める条例の制定を

中島 一雄

問 青少年を健全に育成することはいつの時代、いかなる社会においても重要な課題である。

市民の教育への関心を高め次代を担う子どもたちの教育に関する取り組みを市民全体で推進し、教育の充実と発展を図ることを目的とする「野洲

市教育の日」の制定を提案し、教育長から社会の現状を考えると時宜を得たもので大いに賛同するとの回答を得た。

そこで、趣旨として教育に対する市民の意識を高め家庭・地域社会が連携して本市教育の充実と発展を図るとともに、明

成果、実績を踏まえて 条例化に向けて取り組む

教育長

答 昨年12月議会で議員提案を受けて教育委員会では、平成18年度から「野洲市教育の日」実施要項に基づき11月1日を教育の日に、11月を教育月間と定めたところである。

県では、平成18年6月1日から「滋賀教育の日」を定める要綱を制定し、取り組み始めた。しかし、本市において教育の日に関する要項を

定めたのは、平成18年が初年度であり、この成果実績を踏まえて条例化に向けて取り組みたい。行政が一方的に定めるのではなく、市民からの盛り上がりが高まるような施策を講しながら、取り組んでいきたい。



小学校運動会



日の野洲市を担う子ども達を育むため「野洲市教育の日」を定める条例」を制定をすべきと考えるが、方針を伺う。

農業経営の

安定策は

西本 俊吉

問 今、農業が、国の政策変更により大きな転換期を迎えている。4畝以上の認定農業者や特定農業団体等でない、国の助成

金が受けられなくなる。① 市の施策と関係者の受け止め方について。特定農業団体の設立状況、認定農業者との関わりは。

答 ① 担い手要件を満たす組織作りのため、農談会を開催し、その結果

た、12集落が認定農業者や特定農業団体への委託を予定している。

八集落が特定農業団体、十九の集落が農組、ま

(市内の認定農業者は現在88名)

足腰の強い農業施策を図る

環境経済部長

問 子どもが健全に育つために、学校図書の実充は大切。国の学校図書館図

書標準に対し、市内小学校の現状と、専任の司書教諭を配置できないか。

図書購入と活用を考える

教育長

答 教育の場での読書はたいへん大事である。達成状況は、学校数で小学校で半分、中学校は3分の1。

専任の司書教諭を配置することは難しいが、図書館ボランティアの方々の研修機会に内容の充実を図っていききたい。また、市立図書館との連携をさらに強化していく。

② 「こだわり農業」や規模の小さな農家に対しての指導は、また国に準じた自治体独自の支援を検討する時期と考えるが。

② 平成19年度から国が施策導入する「農地・水・環境保全向上対策」の主旨を踏まえて、新たに取組む集落の増加やその範囲の拡大を講じていく。



その他の質問

問 市の公園管理について

答 安全点検は年に一度業者に委託。危険度の高い遊具・施設から順次修繕を実施している。

